

令和 5 年 1 2 月 1 9 日

スクールバス通学について（案）

1. 基本的な考え

- | |
|---|
| ①勝山高校周辺の交通状況や通学路の状況を考慮して生徒の安全安心な通学環境を整える。 |
| ②スクールバスの利便性を向上して雨や雪の際の保護者の負担をなくす。 |

2. 具体的な運行方法

- ・現在運行している路線バスのルートを活用し、その時間帯はスクールバスとする。
- ・高校生は具体的な人数が不透明なため、現時点では中学生を中心に考える。
- ・一般の方で乗車する方がいる場合はルート上のバス停に停車する。
（現在の利用状況を考えると乗車可能と考える）
- ・中学生はジオアリーナから 1.5km 以遠の生徒をバス通学の対象者とする。
- ・停留所は現在のバス停を利用する。
- ・自宅からバス停までは 500m を想定している。
- ・朝 1 便、夕 2 便の運行を想定する。
- ・予定している中学生が停留所にいなくても時刻になったら出発する。
- ・生徒で遅刻した場合は、保護者の送迎かもしくはあとのデマンドバスを予約する。
- ・バスがかなり遅れる場合、または運行中止の場合は、別途連絡可能な方法を検討する。

3. ルート（案）

①平泉寺方面	: 中学生 47 人	⑥野向方面	: 中学生 29 人
②猪野瀬方面 1	: 中学生 42 人	⑦荒土方面	: 中学生 29 人
③猪野瀬方面 2	: 中学生 50 人	⑧鹿谷方面 1	: 中学生 29 人
④遅羽方面	: 中学生 20 人	⑨鹿谷方面 2	: 中学生 25 人
⑤北谷方面	: 中学生 10 人	⑩北郷方面	: 中学生 43 人

4. 今後の方向

- ・ルート案がほぼ部会で了承となれば、市内業者と相談・協議し、ルートを決めていく。
- ・バス購入も含め、運転手の確保、費用面、管理面を検討していく。